

# 図書館たより

号数 第53号  
発行日 昭和56年10月5日  
編集行 島根県立図書館  
松江市内中原町52  
TEL(0852)22-5725  
印刷 渡部印刷株式会社

4月スタート!「何冊までかりられるの?」「5冊借りられますよ。」「わあー、学校は1冊しかかりられんよ。」と、両手いっぱいに本を抱えていく子どもたちを見るにつけ、今さらながら図書館の重要性を痛感している。本年4月に開館して以来、利用状況は当初計画した『佐田町立図書館5カ年振興計画』をはるかに凌ぐ盛況ぶりで、連日うれしい悲鳴をあげている。中学生をはじめとして館内閲覧者もふえ、図書の貸出冊数も1日平均70冊を上回るほどになってきた。

佐田町においては、昭和51年度より県立図書館の指導のもとに図書センターを開設、昭和52年度からの蔵書計画と併せ、住民のニーズに応えてきたが、図書センターの開設事業もいよいよ本年度をもって終了する。中央公民館の建築に伴って、その一角に図書室が完備されたのを契機に、より一層地域住民に対する読書普及のサービス活動をし、読書活動の振興を図っていくため、『図書館設置条例・規則』を制定し、4月より県内11館の公立図書館に新しく仲間入りをすることになった。

○(活動状況)振興計画に基づき、住民サービスの強化充実と読書普及をする為に、次の活動を行っている。

**親子読書** 保育所・小学校の計4地区で実施。今年度の研修計画は図書の選択の実習・親子読書講演会・親子読書の文集作成・学級生の環境調査と整理・既設学級との意見交換と視察等。

各地区に親子読書用図書を100冊配本し、貸出しは決められた日に1~2冊子どもが自由に選んで1週間家庭に持ち帰り、就寝前の10~15分間母親が中心となり読み聞かせをしている。

**読書会** 一般成人を対象とし、毎月第3水曜日午後7時に図書館に集まり実施している。現在12名の会員。テキストは県立図書館の「読書会用図書目録」から選定し、輪番制で司会を担当している。会費は1人月200円で会の運営費にあてている。

**自動車図書館** 毎月第1・第3火曜日にそれぞれ窪田・須佐コースを巡回。16地区の公民館に各30分停車。1人5冊以内で1ヶ月間貸出している。

**広報活動** 町広報紙に隨時、近況を掲載。また年2~3回「新着図書の紹介」を発行している。

○(課題)本町の図書館は、専用の独立した建物ではないが、中央公民館の入口に位置し、備品も一応整備されており、住民の利用しやすい条件を備えている。このような好条件と相まって、親子読書活動の推進、自動車図書館の新設・読書会の開催等により図書館利用は急激に活発になりつつあり喜ばしい限りである。しかし、蔵書も6千冊余り。専任の司書は1名。まだまだ努力すべき点も多い。今後一層の、新刊図書の購入、図書館と住民の結びつきを更に密にする為の広報活動の充実、読書会の会員の拡大等を図っていきたい。

## 新設 佐田町立図書館の横顔

# ご利用ください

## —館内の各種コーナー紹介—

(2)

当館は情報資料センターとして資料を積極的に収集し、その活用を図らなければなりません。

そこで、さまざまな資料を収集し、それを分類整理して、それぞれの用途にしたがい利用されやすいよう配置しています。

今回は、この中から皆さんに一層活用していただくため、次の三つのコーナーを紹介します。

### ◎ 市町村ガイドコーナー

郷土資料室では、昭和53年から郷土資料モニターとして、県内各地から70名の方々に依頼し、各地の郷土資料を網羅的に把握し、その収集に努めています。

しかし、従来郷土資料の収集にあたっては、比較的歴史資料に重点をおき、県内の現勢を把握する情報資料の収集にやや手薄だったきらいがありました。

そのため、昭和54年からは市町村ガイドコーナーを設置して、県内のあらゆる機関の協力により、最新の情報を収集し、これを提供することとしました。

現在では、県内全市町村および教育委員会をはじめ各種協同組合、商工会議所等から資料の提供をいただき着々整備され、これを市町村別にポックスをもうけ、いつでも利用できるようにしています。

資料の一部を紹介しますと、市町村広報、同要覧、農協だより、公民館報、各学校の要覧や研究概要、文集、さらに観光パンフレットなどいろいろあります。

これらは、各市町村の現況を知るうえでの最新のものであり、実際にその地に行かなければ手に入らない資料も多く、利用価値も高いと思われます。

最近は、このコーナーの前に立ち止まる方が増え、出身地の広報をめくる人や、観光パンフレットを見る旅行者、調査研究のために利用される人の姿が見受けられます。

市町村によって資料に多少の差はありますが、提供いただく各機関、団体および郷土資料モニターのご協力により、一層の充実に努めるとともにより多くの人々がこの資料を充分活用されるよう努力していきます。

### ◎ 海外情報コーナー

本年2月新たに発足したコーナーで、世界各国の最新情報を知ることができるものです。

近年海外との交流が盛んになり、人々の海外渡航や通商関係等で各国の状況を把握する必要から図書館にいろいろな問合せや資料の提供を求められるようになりました。

しかし、当館では各国別の観光ガイドブックや毎年刊行される「世界年鑑」を提供する程度で、すべての国の資料を網羅しているわけではありません。また刊行される資料も種類が少なく、よく知られている特定の資料に限られているきらいがあります。

そこで最新の海外情報資料を収集し、充実してゆくため、昨年末、在日の各国大使館、同観光局等に自国を紹介している和文資料の寄贈を依頼しましたところ、約80か国の協力により約500点の資料が集まりました。

これはいずれも最新の正確な資料で、観光パンフレットから国勢を紹介する冊子までいろいろあります。これを国別に閲覧できるようにしています。各国の調査・研究に、また海外出張や旅行等に役立ててください。

### ◎ 中学生コーナー

公共図書館では、子どもに対する読書サービスを行っていますが、どこの図書館でも小学6年生までの児童、幼児を対象にし、一般へのサービスは成人が対象の中心になっています。

従って、中学生に対するサービスはちょうどその谷間になってどうしても手薄になりがちなのが実情です。

人間の生涯にわたる読書の問題から考えますと、はじめて本に出会う幼児期と中学生期が、本に親しむ最も重要な時期だといえます。

そこで当館では、本年4月から中学生を対象にしたコーナーをもうけ、おすすめしたい本約500冊を集め中学生の皆さんを利用しやすいようにしたもので

## ●ぐりとぐら

中川李枝子文 大村百合子絵

福音館書店 ￥480

野ねずみのぐりとぐらは、大きなおこを持って森の奥へ出かけ大きな卵を見つけた。大きな卵からは大きなカステラができあがり、森の動物たちとお腹いっぱい食べる。素直ではぎれのよい文章が心地よいひびきをもち、のびのびと明るい絵は楽しい雰囲気をもりあげている。



## ●からすのパンやさん

かこさとし文・絵

偕成社 ￥780

いづみが森のカラスのパンやさんに4羽の赤ちゃんが生まれ、お父さんもお母さんも大忙しどなる。作るパンはどれもはん焼けやこげすぎとなつてしまい、子ども達のおやつになる。このパンが評判になり森じゅう大きわぎ。九十ものおやつパンや大事件だと集まるカラス達の表情は読み手の心を楽しませる。

## ●おおかみと七ひきのこやぎ

グリム童話 フェリクス・ホフマンえ

せたていじ訳

福音館書店 ￥850

おかあさんヤギがでかけたあいだに、オオカミが手をかえ品をかえ、おかあさんヤギにばけてやってきて、とうとうだまされた子ヤギたちは食べられてしまう。子どもたちになじみ深いグリム童話。おさえた色彩と迫力ある話の内容とともに子どもをとらえてはなさない絵本の傑作。

## ●どろんこハリー

ジーン・ジョン文 グレアム絵

わたなべしげお訳

福音館書店 ￥600

ハリーは黒いぶちのある白い犬でおふろが大きらしい。ある日、おふろにお湯を入れる音を聞くと家からにげだしてしまう。そして、あちこち遊びまわってどろんこになってしまったので、家人達にはハリーだと分らない…。単純なストーリーとユーモラスな漫画風な絵がどんな子をもひきつける。

こ  
ど  
も  
の  
本  
⑧

## ●とこちゃんはどこ

松岡享子さく 加古里子絵

福音館書店 ￥380

赤い帽子が大好きな元気な男の子とこちゃんはちょっと目を離すとすぐとことこ駆けだししてどこかへいってしまう。動物園、海、デパートなど漫画風な絵で細かく動的に描かれている。これは画面いっぱいの人の中からとこちゃんを捜しながら遊ぶ絵本。

## ●かわ

かこさとしさく・絵

福音館書店 ￥480

川の源から海に至るまでのようすを淡い色調で川と密接な関係にある山や村や町の生活と関連づけめ細かく生き生きと描いている。横長の形を活用して本の幅いっぱいに流れていく川が最初のページから最後まで1本につながっているのがおもしろい。



# NEWS

## 昭和56年度島根県公共図書館協議会総会開催

去る6月24・25日の両日、簸川郡佐田町の竣工間もない中央公民館で、かつてない51名の参加者が一同につどい開催された。主なものは次のとおり。

○昭和56・57年度の新役員が次のとおり選出された。

会長 島根県立図書館長 林 晃二  
副会長 大田市立図書館長 渡利欣一  
監事 多伎町教委教育長 伊藤 裕  
同 日原町立図書館長 井筒賢一

○事例発表『新図書館の発足にあたって』

発表者 仁摩町立図書館 龍野社教係長  
同 佐田町立図書館 系賀社教指導員(司書)  
今年度から発足した両町の図書館活動の現状や今後の振興計画等について発表された。

○提出議題『読書普及の啓蒙活動はどのようにしたら効果的であろうか』について意見交換が行われ、今後の活動をおしそすめていくための貴重な意見を聞くことができた。

## 昭和56年度中国地区図書館職員研究集会開かれる

近年、図書館流通センターや取次店等に委託して整理・装備した図書資料を収集するシステムが都市部を中心に採用されつつある。そのため、去る9月10日当館において「外注委託による図書資料の整理と収集」のテーマのもとに上記研究集会が開かれた。すでに外注委託をしている金沢市立図書館、三原市立図書館、桜江町コミュニティセンターの発表があった。いずれの館も職員不足解消、整理事務の省力化を目的に外注委託し、装備一さいをしてもらっている。利点として、ていねいな装備のため図書の耐久性を増すことができ、整理に時間がとられなくなった反面、カタログ購入のため希望の本が入らなくなったり、司書が司書としての仕事ができなくなるのではという意見があったが、これらは日常の職員の努力によって克服すべきであるとの意見もあった。

## 図書館の利用時間延長試行する

利用者サービスの一つとして、9月1日から1か月間、利用時間を1時間延長し18時まで利用できるよう試みに実施した。

これは昼間の利用が困難な人々が、少しでも利用できるようにと毎週火曜日から金曜日まで、午後6時閉館(土・日曜日は5時まで)として実施した。

この1か月間の利用状況は次のとおりであった。

### ○入館者数

(17時以降)	9.5人	10人	8.1人	6.5人	4.1人	2.3人
1日平均40人	17:10分まで	17:20分まで	17:30分まで	17:40分まで	17:50分まで	18時まで

### ○貸出冊数

(17時以降)	14.7冊	8.3冊	3.4冊	5.2冊
1日平均32冊	一般	大学生	高校生	中学生

### ○在館者数

1日平均	86人	52人
(時間別)		
22人	35人	49人

9:10分 9:30分 10:00分 17:00分 17:45分

今後これらのデーターを基に、これに伴う諸問題を検討し、利用者にとって利用しやすい図書館として努力することとしている。

## ベルギーから海外情報コーナーへ資料寄贈

8月20日、駐日ベルギー大使ヘルマン・ドゥエナン氏が夫人とともに県立図書館を訪れ、母国からとりよせた地理や文化を紹介した本16冊と、観光パンフレット多数を寄贈された。

昨年11月、海外情報コーナーを設けるにあたり、各国大使館あてに資料の寄贈を依頼したところ、親日家の大使が自らの手で母国の資料を届けようと今回の来松となったもの。

贈られた図書は、「ベルギーの芸術」「アントワープの町」など、いずれも美しいカラー写真をふんだんに使ったものばかり。日本人になじみ深いヒエロニムス・ボッッシュやブリューゲルの大きな画集もあり、ヨーロッパの中世芸術の重みをあらためて感じさせてくれる。

## ★スポット・ニュース

### \*当館新着図書リスト

山陰中央新報紙上に掲載しています。

一般図書は9月から毎月1回、郷土資料は7月から毎月1回掲載されています。掲載日は定まった日ではありませんが、だいたい上旬です。ご覧の上、どしどしご利用ください。

### \*図書館だより

55年4月から読売新聞(東部)版で毎週火曜日、県立図書館の奉仕活動について紹介しています。

### \*郷土質問箱

54年11月から山陰中央新報で毎月1回、郷土に関するレファレンス(質問)に解答しています。